



第37期(2008年3月期) 決算説明会資料

2008年5月27日

日本ラッド株式会社



Contents

1.第37期決算説明および第38期業績予想

2.第37期の主な取り組み

3.会社説明

4.今後の展開

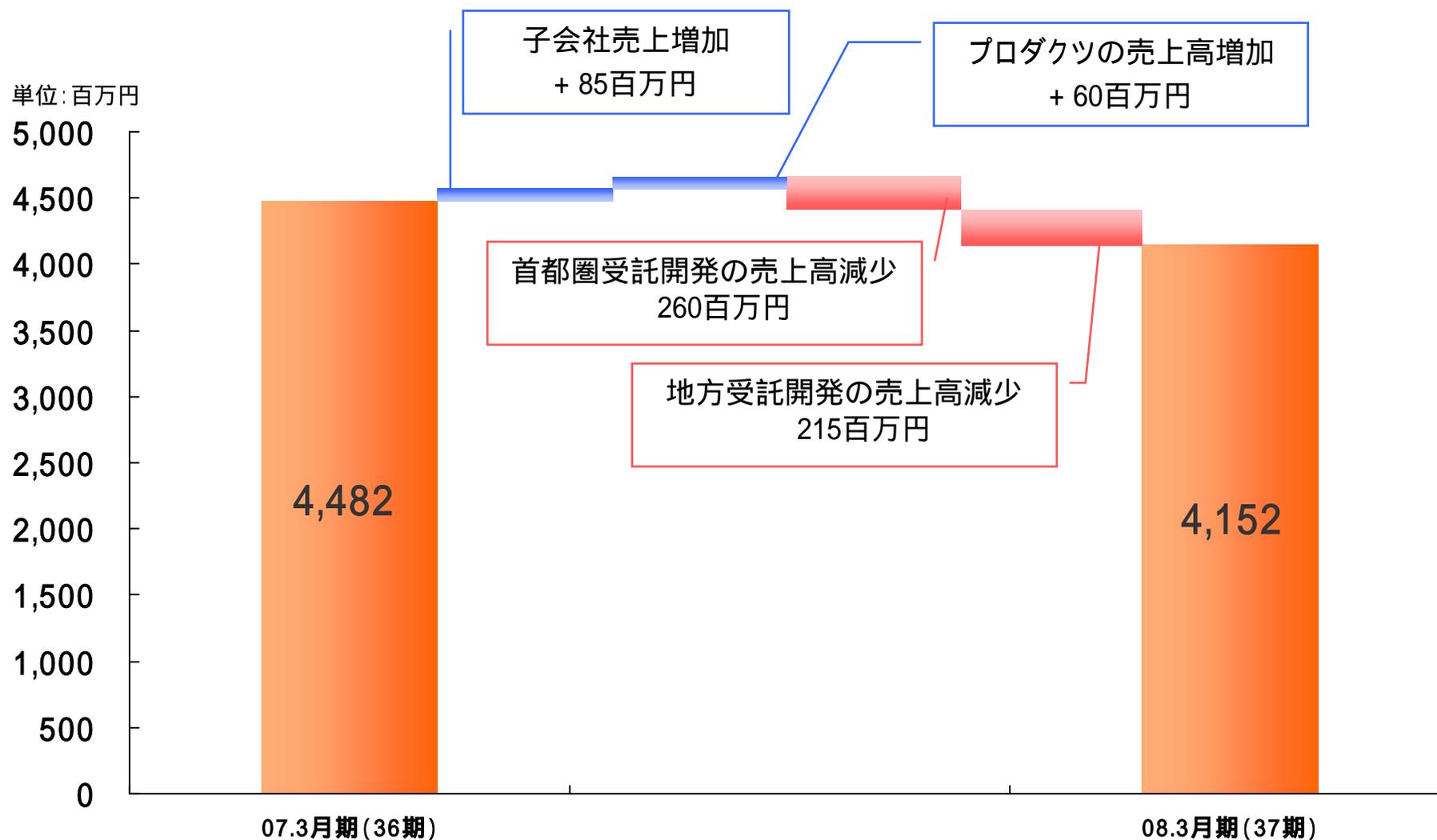
5.補足資料

1.第37期決算説明および第38期業績予測

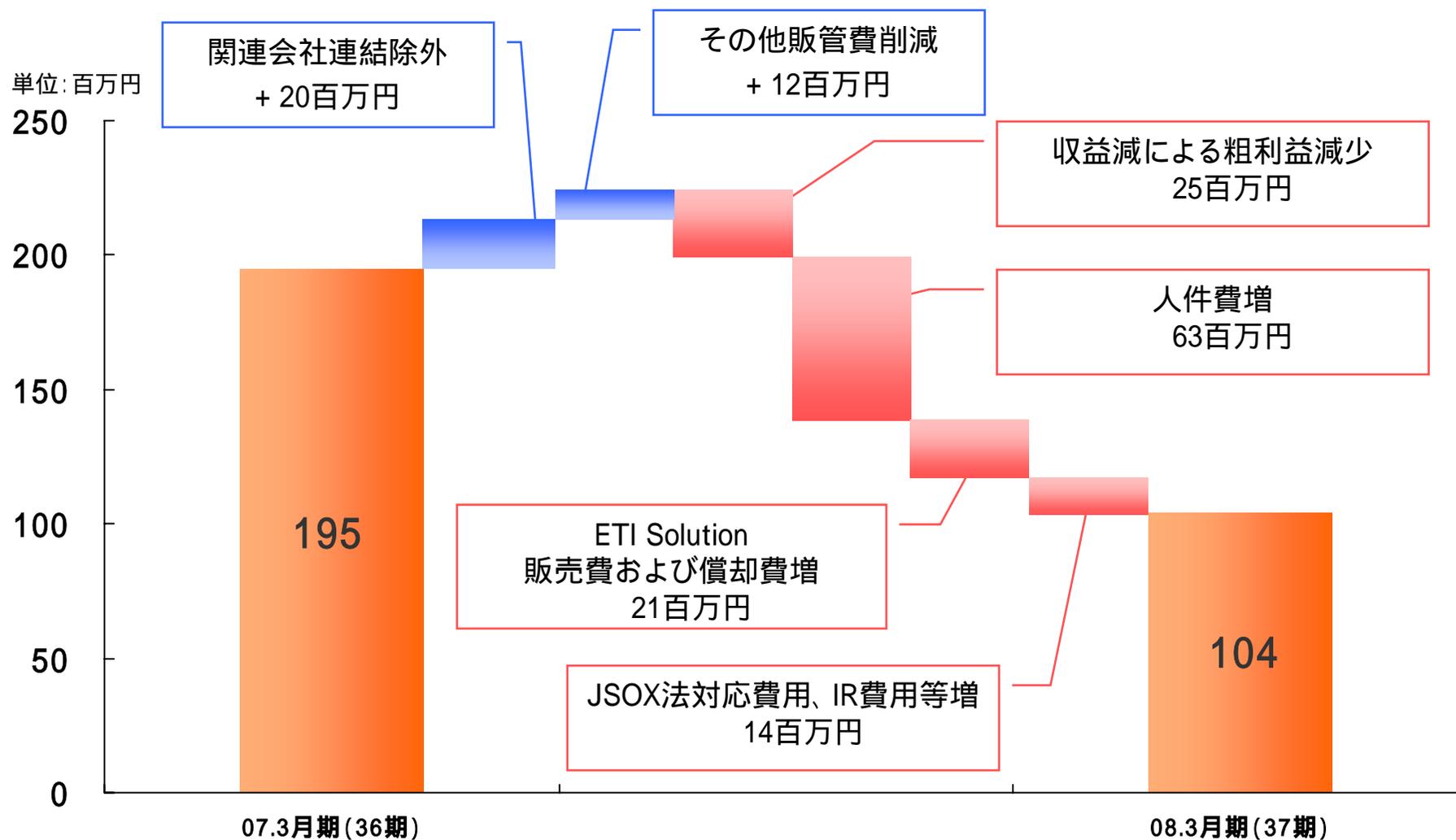
2008年3月期 連結業績ハイライト

P/L (単位:百万円)	(06.4 ~ 07.3) 07.3期実績 (売上高比率)		(07.4 ~ 08.3) 08.3期実績 (売上高比率)		対前年同期実績		08.3期 期初予想 (07年5月18日発表)
	増減額	増減率					
売上高	4,482	(100%)	4,152	(100%)	329	7.4%	4,770
営業利益	195	(4.4%)	104	(2.5%)	91	46.5%	285
経常利益	160	(3.6%)	94	(2.3%)	66	41.4%	275
(当期) 純利益	71	(1.6%)	90	-	161	-	130

2008年3月期 連結売上高分析(対前年比)



2008年3月期 連結営業利益分析(対前年比)



1.第37期決算説明および第38期業績予測

2008年3月期実績 [連結損益計算書]

P/L (単位:百万円)	(06.4 ~ 07.3)	(07.4 ~ 08.3)	対前年同期	
	07.3月期実績 (売上高比率)	08.3期実績 (売上高比率)	増減額	売上高比 増減
売上高	4,482 (100%)	4,152 (100%)	329	
売上原価	3,573 (79.7%)	3,269 (78.7%)	304	+1.0 ↗
販管費	712 (15.9%)	778 (18.8%)	65	+2.9 ↗
営業利益	195 (4.4%)	104 (2.5%)	91	-1.9 ↘
営業外損益	35 (0.8%)	10 (0.2%)	24	+0.6 ↗
経常利益	160 (3.6%)	94 (2.3%)	66	-1.3 ↘
特別損益	41 (0.9%)	179 (4.3%)	220	-5.3 ↓
税金費用等	134 (3.0%)	3 (0.1%)	131	-2.9 ↘
少数株主損益	4 (0.1%)	1 (0.0%)	6	-0.1 ↘
(当期)純利益	71 (1.6%)	90 (2.2%)	161	-3.8 ↘

米国ETI社の有価証券評価損、米国APPLIX社への前渡金評価損、退職給付金費用等による、特別損失の計上

- 有価証券評価損……………57百万円
- 前渡金評価損……………83百万円
- 退職給付金費用……………44百万円

1.第37期決算説明および第38期業績予測

2008年3月期実績 [連結貸借対照表・キャッシュフロー計算書]

BS(単位:百万円)	07.3月期末(07.3.31)	08.3月期末(08.3.31)	増減	
流動資産	2,946	2,477	468 ↓	流動資産 ▶社債償還 2億58百万円減 ▶前期末休日 受取手形及び売掛金1億41百万円減 ▶TM1ライセンス料評価損 前渡金98百万円減
構成比	73.7%	70.4%	-3.3P	
固定資産	1,052	1,040	12 ↓	
構成比	26.3%	29.6%	+3.3P	固定負債 ▶社債償還 3億円減
流動負債	1,037	1,196	159 ↑	
構成比	25.9%	34.0%	+8.1P	営業活動CF ▶税金等調整前当期純損失82百万円を計上したが、売掛債権回収による収入1億44百万円、非キャッシュ項目の前渡金評価損の増加83百万円、退職給付引当金の増加75百万円等により前年比収入増
固定負債	1,051	536	515 ↓	
構成比	26.3%	15.3%	-11.0P	
純資産	1,909	1,784	125 ↓	投資活動CF 関連会社の株式取得42百万円等の支出も、米国ETI社への出資50万ドル支出した前年と比べ支出減
構成比	47.8%	50.7%	+2.9P	
資産合計	3,998	3,517	480 ↓	財務活動CF ▶社債償還による支出3億円、配当金の支払額27百万円等により、前年比支出増
CF(単位:百万円)	07.3月期末	08.3月期末	対前年差額	
営業活動	63	158	94 ↑	
投資活動	131	73	57 ↑	
財務活動	35	347	383 ↓	

1.第37期決算説明および第38期業績予測

2009年3月期 業績予想

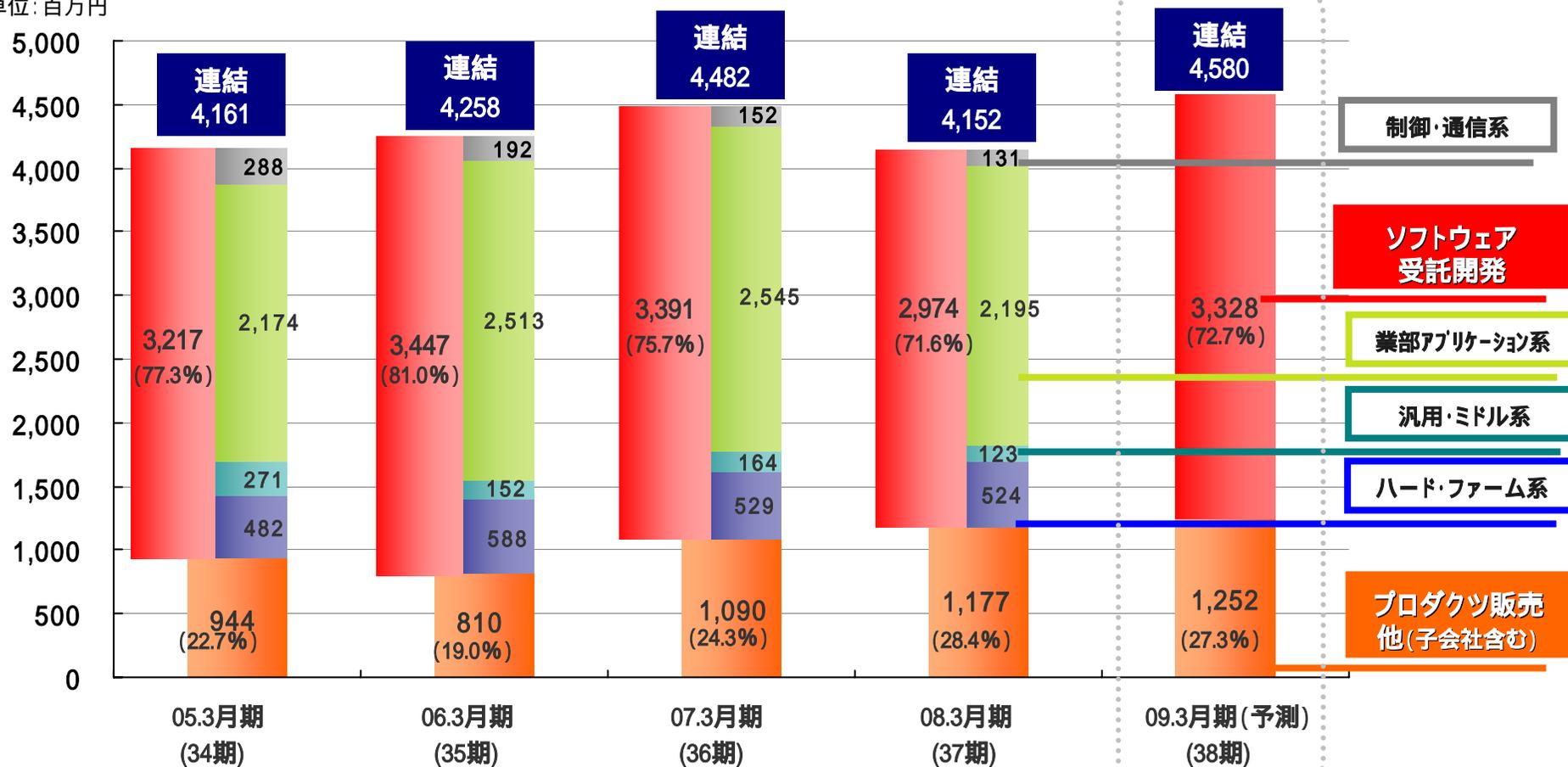
連結 (単位:百万円)	09.3月期 通期業績予想		08.3月期 通期実績	対前年実績	
		百分比		増減額	増減率
売上高	4,580	-	4,152	428	10.3 %
営業利益	227	5.0%	104	123	118.3%
経常利益	210	4.6%	94	116	123.4%
当期純利益	115	2.5%	90	205	

単体 (単位:百万円)	09.3月期 通期業績予想		08.3月期 通期実績	対前年実績	
		百分比		増減額	増減率
売上高	3,900	-	3,444	456	13.2%
営業利益	188	4.8%	37	151	408.1%
経常利益	188	4.8%	42	146	347.6%
当期純利益	101	2.6%	174	275	

セグメント別売上高推移

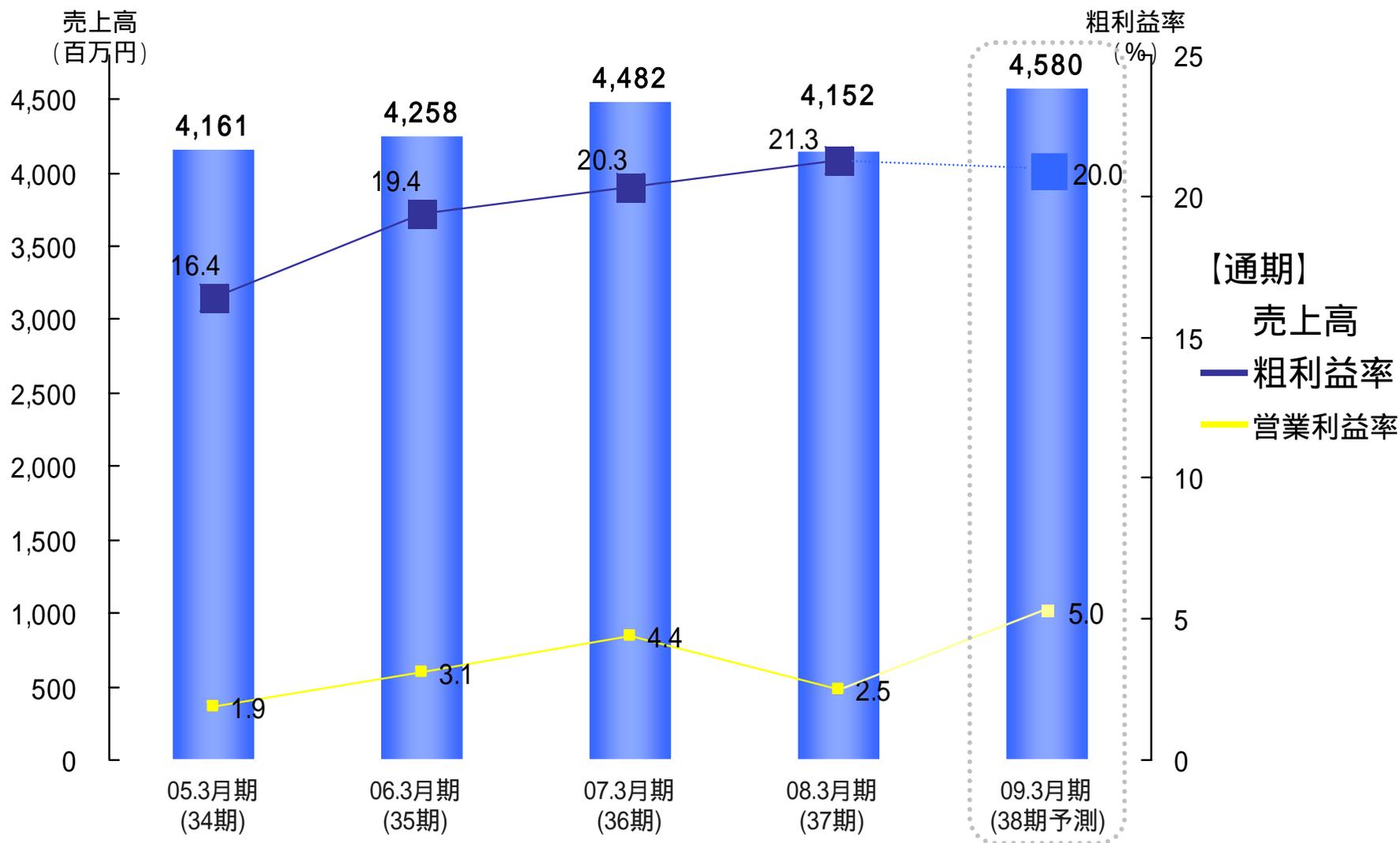
事業の種類別売上高推移

単位:百万円



1.第37期決算説明および第38期業績予測

連結売上高と利益率の推移



Contents

1. 第37期決算説明および第38期業績予想

2. 第37期の主な取り組み

3. 会社説明

4. 今後の展開

5. 補足資料

2.第37期の主な取り組み

事業活動

ETI Solution®日本語版販売開始



2006年にETI社と業務提携契約を締結し、独占販売権を取得した「ETI Solution®」の日本語対応ソフトが完成し、2007年6月より日本市場での本格的なビジネス展開を開始。通信、自治体、銀行等に向けた営業戦略を展開。

初の広域型デマンド交通システム導入



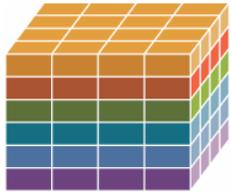
福島県、宮城県、茨城県、愛媛県内の全国9都市に「*デマンド交通システム」導入。(うち5都市は、より長距離のサービスを行うために開発した、IP電話を用いた新しい広域型システム)

*デマンド交通システム:タクシー会社や自治体の小型乗合自動車を利用し、利用者を自宅などから目的地まで送迎する予約型交通システム。バスの低料金とタクシーの利便性を併せ持ち、路線バスの無い過疎地や高齢者の多い地域はもちろん、都市部のコミュニティバスシステムとしても期待されている。全国39箇所導入(2008年3月時点)

2.第37期の主な取り組み

内部統制・組織変更

内部統制システム強化(JSOX法対応)



・内部統制システム構築のプロジェクトチーム発足。予見リスクの洗い出しと内部監査を実施。08年4月には内部統制室を設置。

コンプライアンス体制の整備



・内部統制室および内部通報窓口の設置。その他、内部統制システム基本方針および各種社内規程の見直しを実施。

2.第37期の主な取り組み

業務提携・資本政策・財務活動

株式会社アームとの業務資本提携(2007年12月)



2007年12月20日に、コンサルティング及び情報システムの設計開発事業の株式会社アームと業務・資本提携をいたしました。株式会社アームのコンサルティングノウハウやリソースの活用による収益力強化、また、両社経営陣の密接な協力によって、日本ラッドグループマネジメント層の更なる強化に大きく寄与するものと考えております。今後、様々な提携形態を両社で模索し、シナジーの最大化を図ります。

単元株式数の変更(2007年9月)



投資家層の拡大および流動性の向上を図る事を目的として、単元株式数を1000株から100株に変更しました。

2.第37期の主な取り組み

その他

オフィシャルホームページのリニューアル(2007年5月)



会社の情報をわかりやすく伝えることができるよう配慮するとともに、アクセシビリティとユーザビリティの確保に留意し、オフィシャルホームページをリニューアルしました。

ISO27001認証取得(2007年5月)



日本ラッド株式会社及び子会社の日本ラッド情報サービス株式会社は、情報セキュリティマネジメントシステム規格「ISO/IEC27001:2005」の認証を取得しました。

Contents

1. 第37期決算説明および第38期業績予想

2. 第37期の主な取り組み

3. 会社説明

4. 今後の展開

5. 補足資料

3.会社説明

日本ラッドはトータルITソリューションプロバイダーです

システム構築に関連するあらゆる分野に事業展開し、「社会システム」構築を通じた「社会貢献」を目指しています。



大量データの統合・分析ツール



GIS・GPS技術を組み合わせた
新交通システム



マルチスクリーンシステム
(交通管制センターシステム等)

海外ソフトウェアの
日本語版開発・販売

ソフトウェア

自社プロダクツの
研究開発

組み合わせによるトータルソリューション

制御系システム

ハードウェア ファームウェア

基幹システムに特化した
大規模システム

クライアント
サーバシステム

通信 ネットワーク

WEB系
システム

業務アプリケーション
システム

ヒューマン ウェア



戦略的システム構築
(オンラインショッピングサイト)



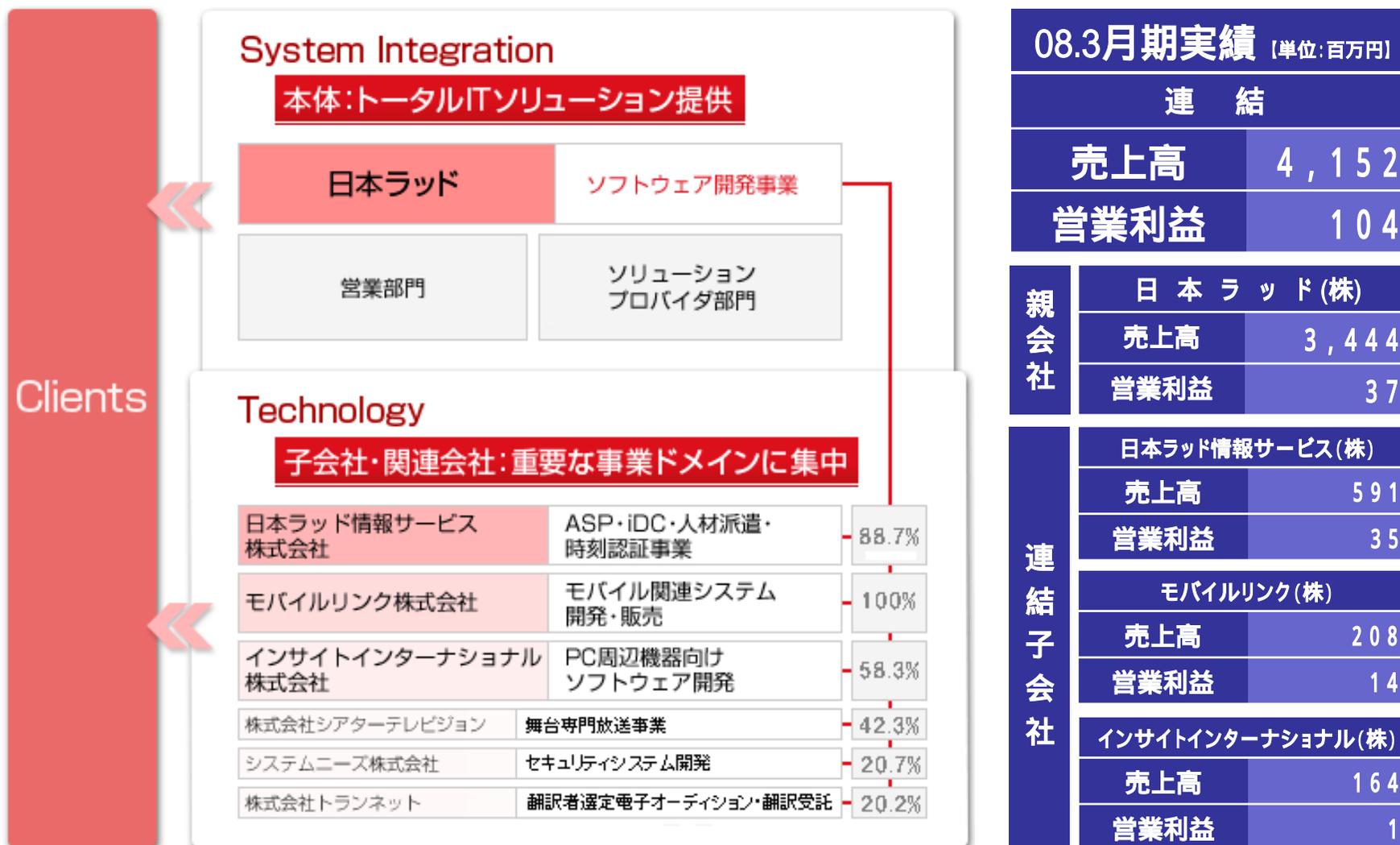
経費削減・効率改善のシステム構築
(ホテル向け自動精算機)



組込系の制御系システム構築
(OA機器、工場等)

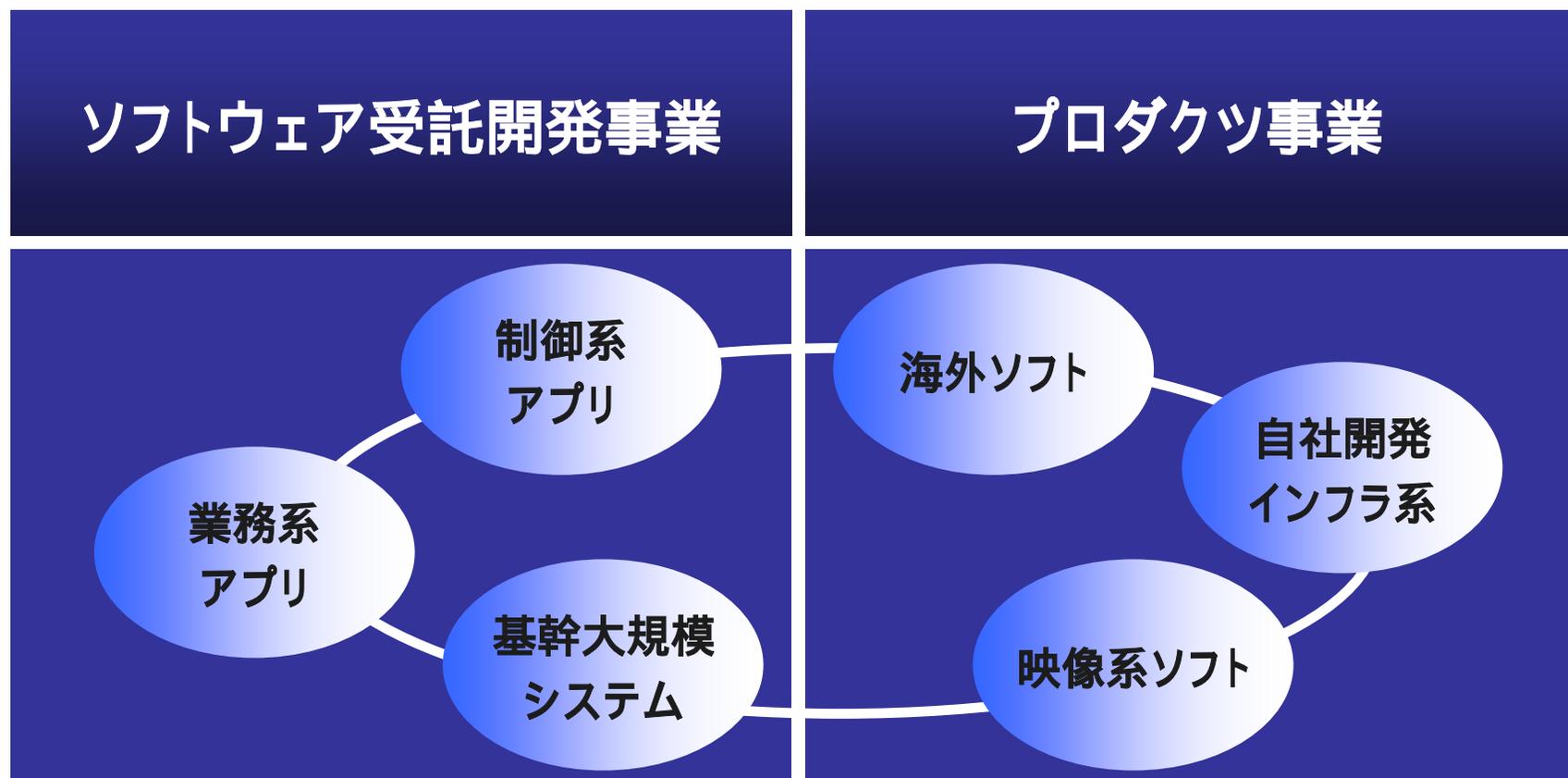
3.会社説明

日本ラッドグループは、トータルITソリューションプロバイダーの日本ラッドと重要な要素技術に集中する子会社・関連会社で構成されます



3.会社説明

日本ラッドは、ソフトウェア受託開発事業とプロダクツ事業という2つの柱があります



日本ラッドの現在の中核事業。制御・通信系、汎用・ミドル系、業務アプリケーション系、ハード・ファーム系の開発、コンピュータシステム構築に関連するあらゆる分野へ事業展開。

自社開発ソフトウェアのパッケージ化や、海外の優れたパッケージ・ソフトの日本市場への積極的導入。近年、売上伸長。

Contents

1. 第37期決算説明および第38期業績予想

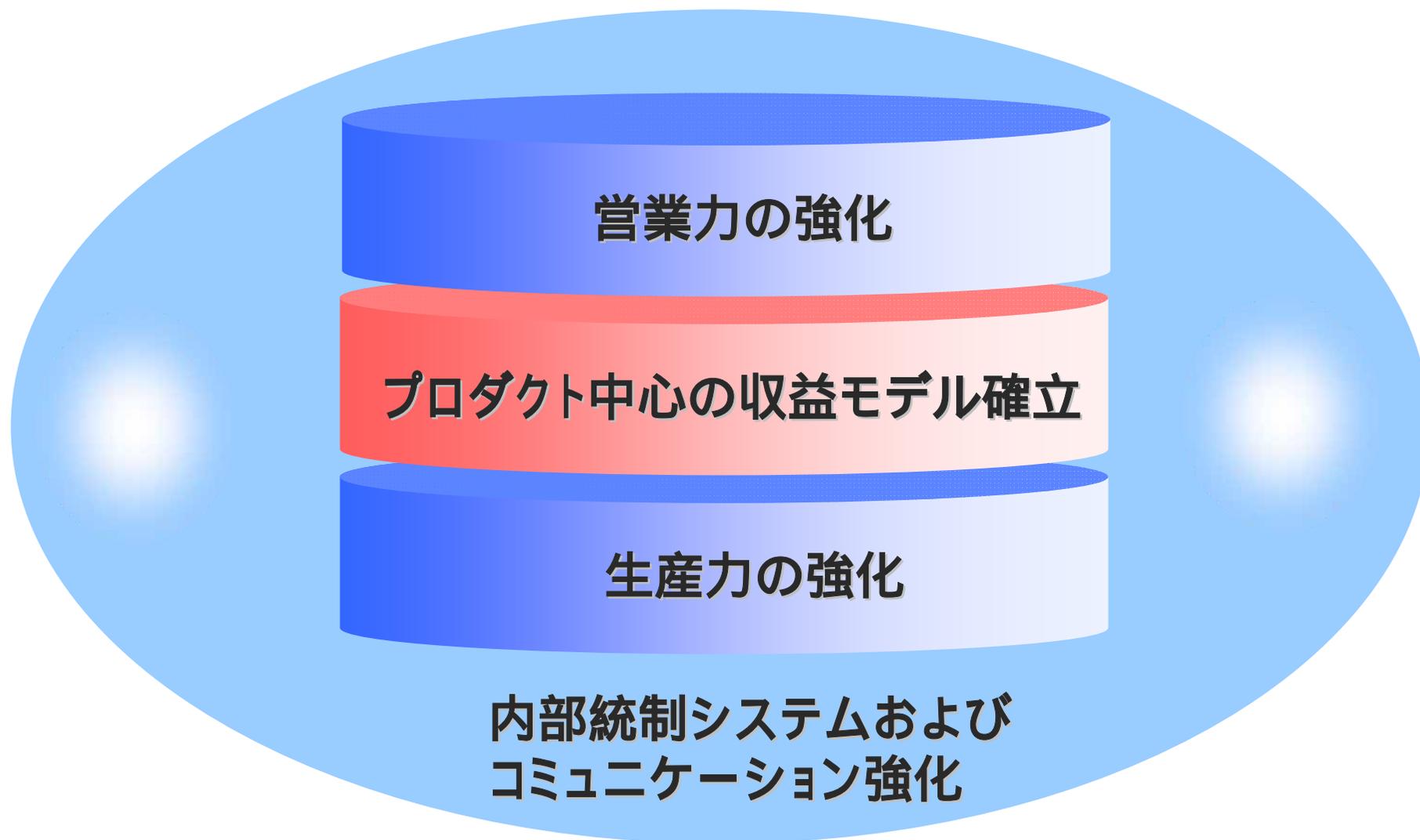
2. 第37期の主な取り組み

3. 会社説明

4. 今後の展開

5. 補足資料

2009年3月期 経営方針



2009年3月期 経営方針 -

営業力の強化 (第37期の業績を踏まえた最重要課題として認識)

戦略的な業績向上を図るため、事業部主体から営業本部主体の体制に移行。

08.4月には営業部員を増員。以降も増員とともに営業本部のポストセールスおよびサポート体制強化を継続。

プロダクト中心の収益モデル確立

競争優位性確保及び収益力向上を図るため、ETI Solution、TM1等のプロダクトを核とした、新規顧客獲得体制とストック型ビジネスの収益モデルを確立。

2009年3月期 経営方針 -

生産力の強化

事業部門と人事部門との連携強化による、優秀なSE確保。
プロジェクトマネジメントの体制強化と定期的なフォローサイクルの確定。
技術力獲得への研鑽と技術分野の明確化。
分散化している社内人材リソースの集中化。

内部統制システムおよびコミュニケーション強化

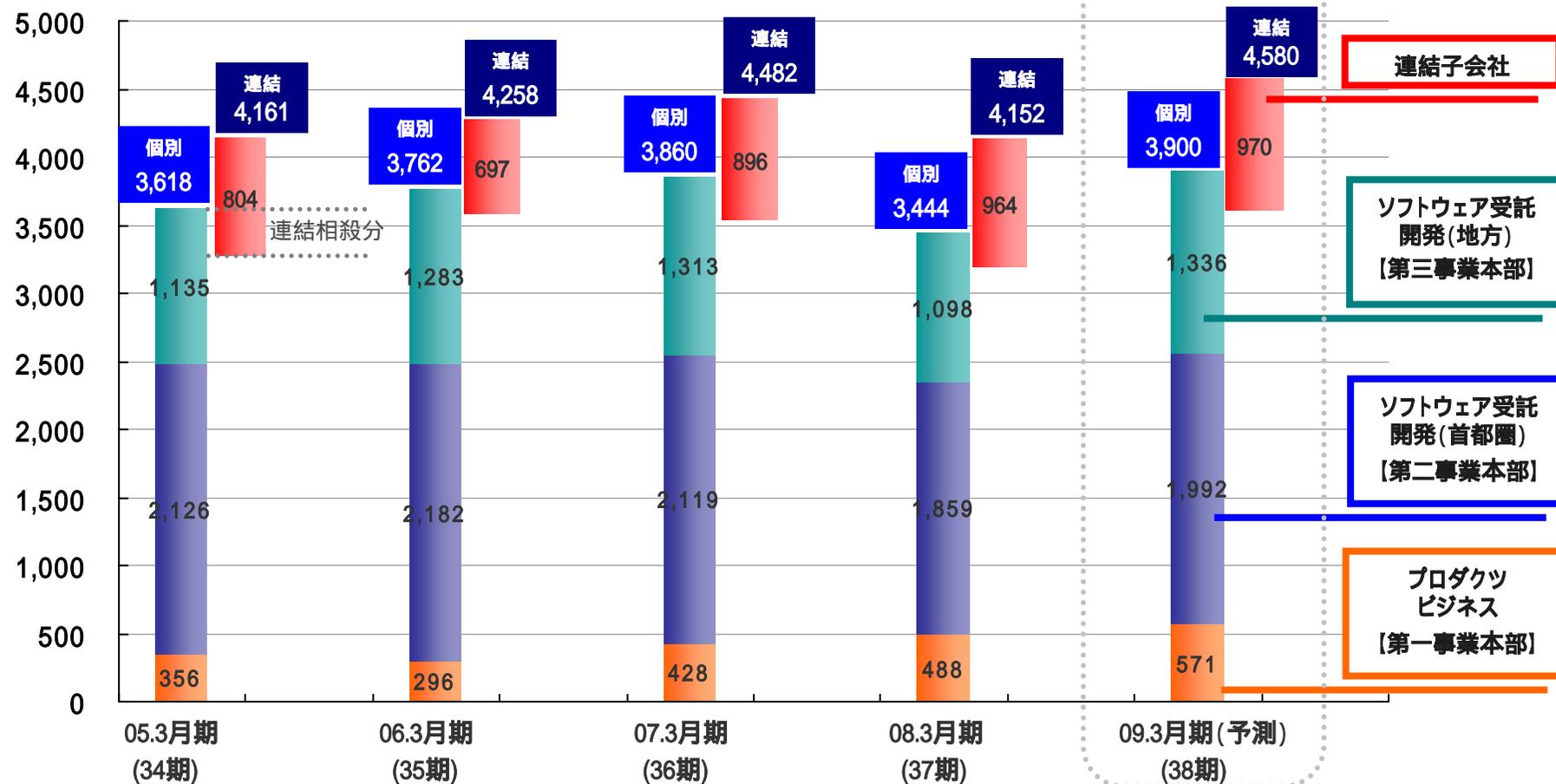
J-SOX法の対応にともなう財務報告の信頼性向上のみならず、公器としての高い企業倫理のもとコンプライアンスを徹底する組織を構築。
その他、経営会議規程の制定や、Webコミュニケーションツールの導入等により、即時的、網羅的なコミュニケーション強化。

4.今後の展開

売上高推移

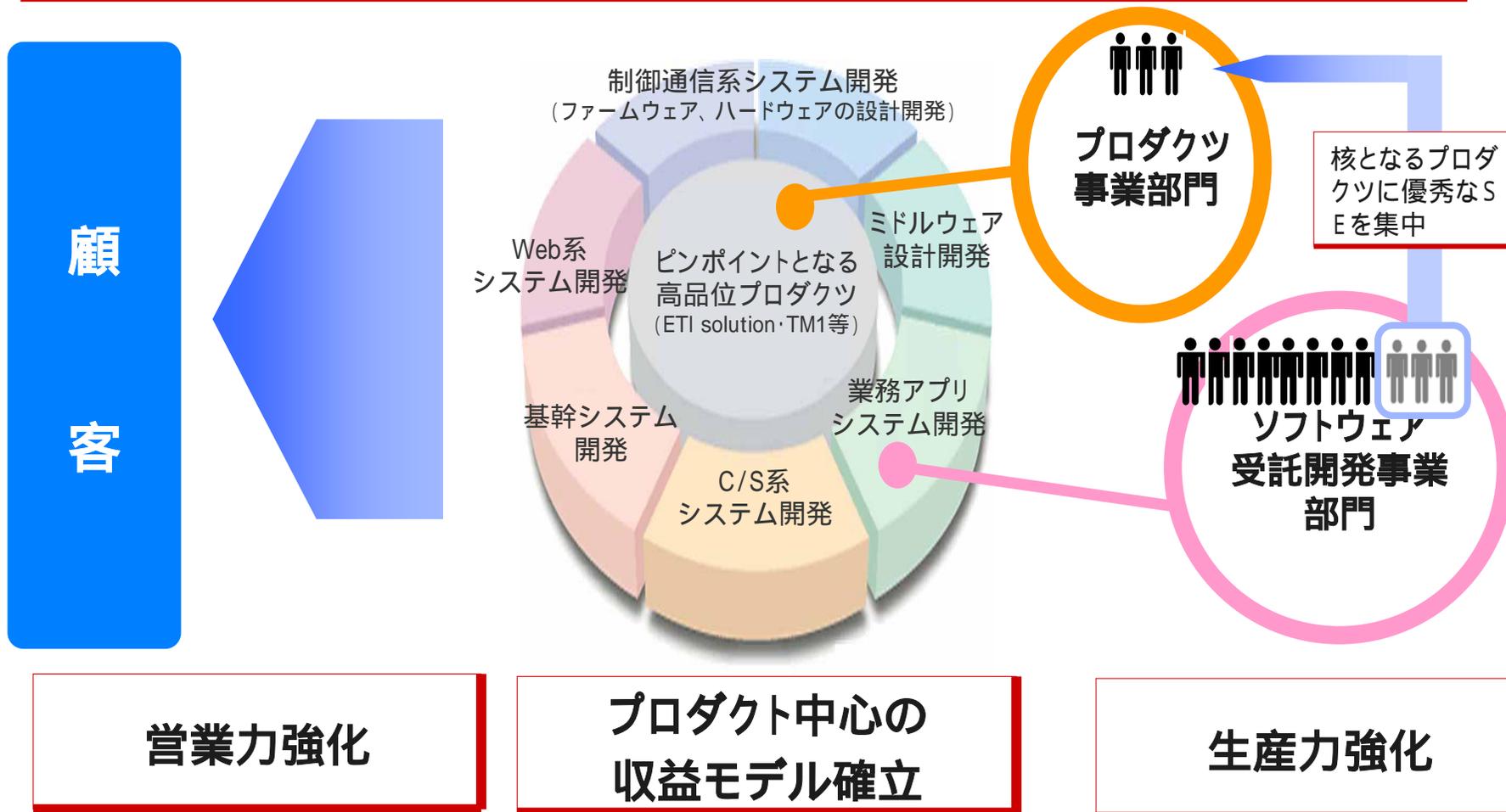
事業本部別売上推移

単位:百万円



日本ラッドの基本戦略

ピンポイントとなる高品位プロダクツを核とした営業戦略の推進



日本ラッドは、業績の踊り場を抜け、 第二次成長フェーズを目指します

38期以降、本格的成長ステージへ



Contents

- 1.第37期決算説明および第38期業績予想
- 2.第37期の主な取り組み
- 3.会社説明
- 4.今後の展開
- 5.補足資料

会社説明【会社概要】

設立

1971年6月7日

上場

1999年11月9日 (JASDAQ 4736)

事業内容

システム設計・開発
パッケージソリューション開発・販売

代表者

代表取締役会長兼社長 大塚 隆一
代表取締役副社長 大和 喜一

決算期

3月

資本金

7億7,283万円

発行株式数

4,505,390株

従業員数

296名(2008年3月31日現在)

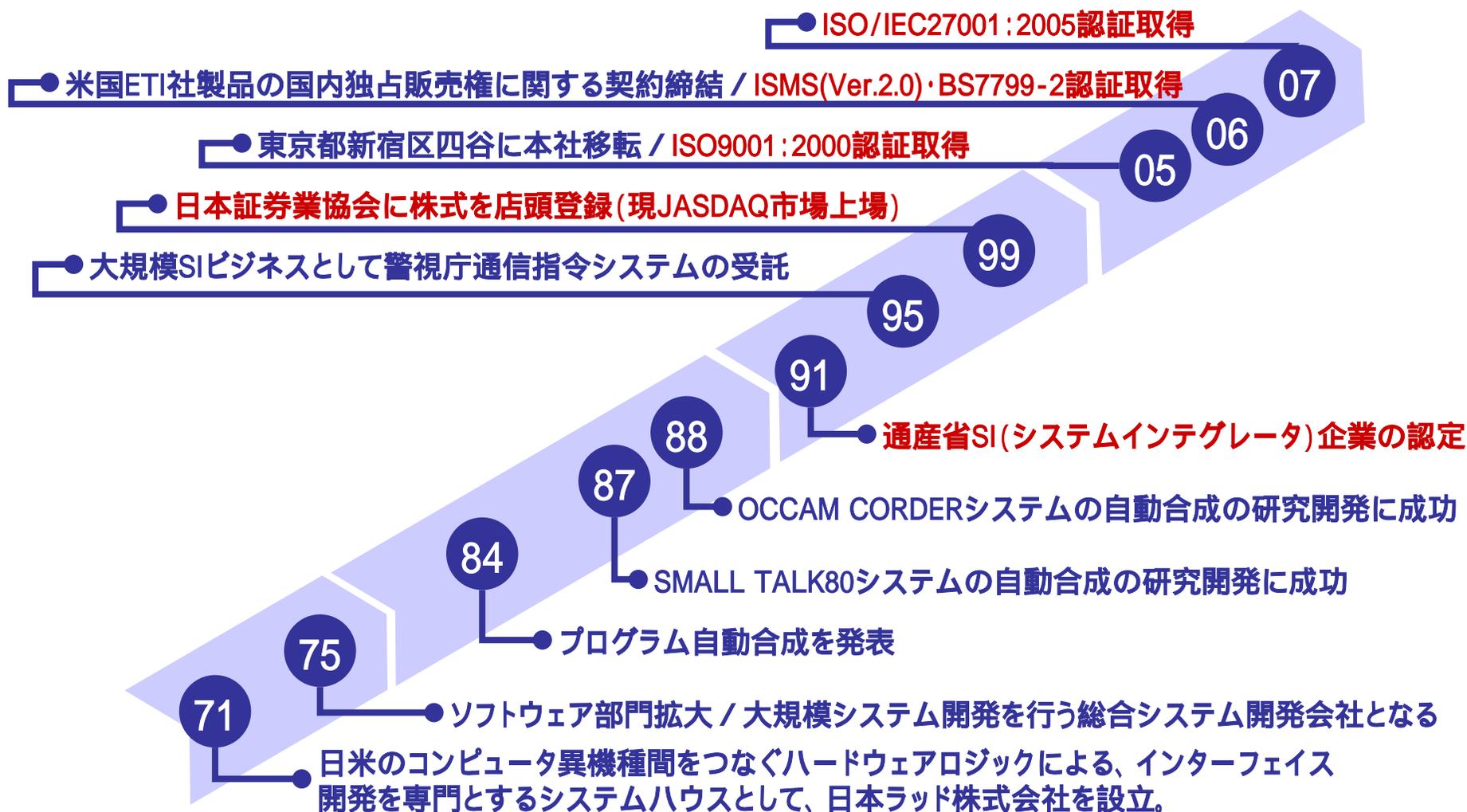
事業所一覧

本社(東京都新宿区)、千葉、大阪、名古屋、浜松、金沢、松本



本社外観

会社説明(沿革)



事業説明【ソフトウェア受託開発事例】

ITの最先端技術を駆使して、様々なお客様のご要望を実現しています

例

オンラインショッピングサイトの構築



インターネットによる受注システムの構築により、企業様の業績向上へつながる仕組みをご提供。

例

花卉ブロードバンドオークションシステムの構築



衛星放送と専用端末を使用していた既存の花卉仕入れのシステムを、インターネット環境があればどこでも競りに参加出来るシステムに構築。
花卉仕入れ業者様の利便性向上を実現。

例

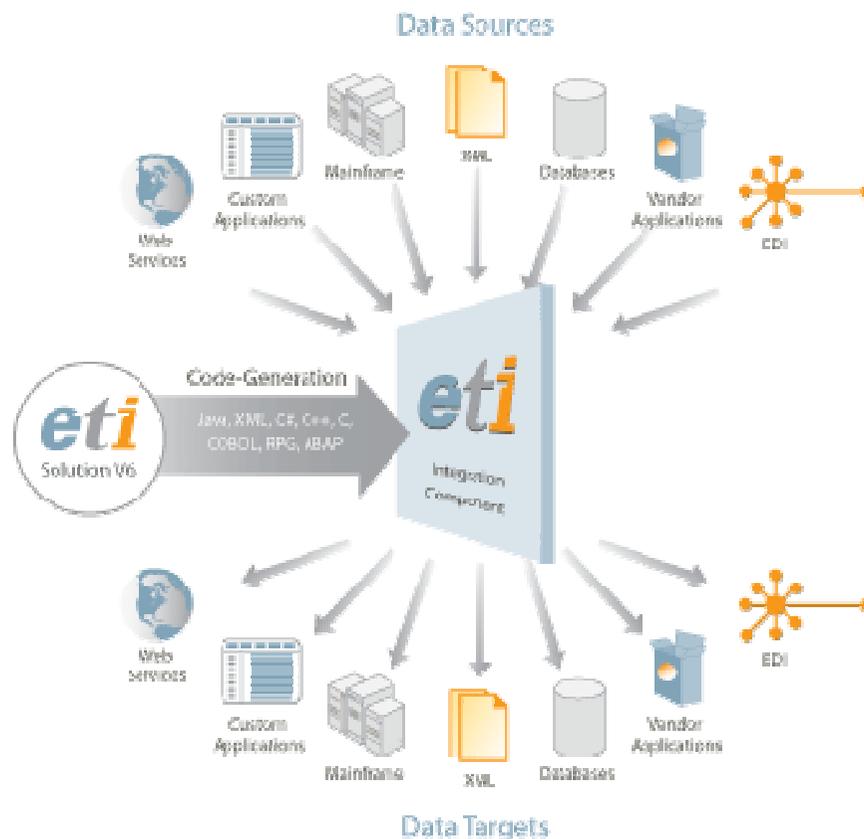
ホテル向け自動精算システム開発



お客様にとっては迅速・確実・便利なサービスの享受、ホテル側にとってはフロント業務の省力化と、運用側、利用側の両方のメリットを実現。多言語対応ガイドランス採用により、外国のお客様にも対応。

事業説明【製品紹介1 ETI Solution- 】

ETI Solutionは、革新的・画期的な、次世代データ統合ソリューションです



高品質プログラムを自動生成する
独自のアプローチにより、メインフレーム、
オープン系、WEB系のシステムに存在
する、あらゆる情報をコントロールし、
情報の100%有効活用を実現。

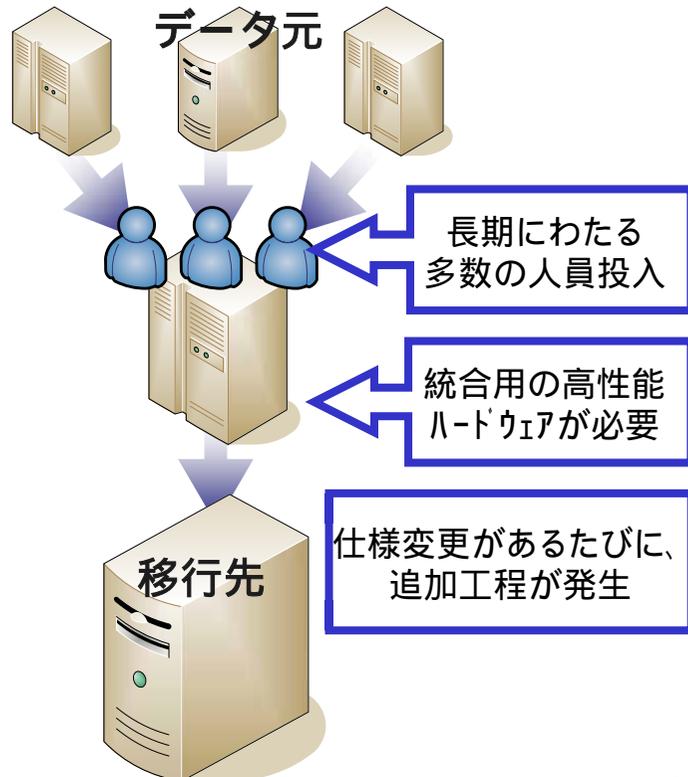


**情報の管理・運用
にかかるコストを
劇的に削減！！**

事業説明【製品紹介1 ETI Solution- 】

ETI Solutionの主な特長(イメージ)

既存のデータ統合ツール



高コスト/人的ミス・納期長期化リスク内包

ETI Solution



膨大なデータの処理が可能
プログラミング・コストの削減
人的ミスの発生リスク排除
納期短期化
安全・確実・短期納期のソリューション

事業説明【製品紹介1 ETI Solution- 】

ユーザ ベネフィットの一例

「ETI Solution」は、欧米で大きな効果をあげています

顧客	項目	効果
<p>米国国防総省 (米国 政府機関)</p> 	<p>運用コスト</p>	<p>2年間で、 約200万ドル削減</p>
<p>Proctor & Gamble (米国 生活用品)</p> 	<p>運用要員</p>	<p>325人 8人</p>
<p>Experian (米国 証券)</p> 	<p>実行速度</p>	<p>1ヵ月～1ヵ月半 24時間</p>

事業説明【製品紹介1 ETI Solution- 】

トヨタ・ヨーロッパ(自動車)、ボーイング(航空機)、テレフォニカ(通信)、フリートバンク(銀行)、アクサ(保険)等の大企業をはじめ、世界中で400を超える企業への導入実績。米国国防総省や国家安全局等の公的機関への導入はセキュリティ面も含めたその堅牢性と信頼性を証明。

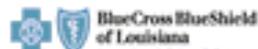
政府関係



Booz | Allen | Hamilton
90 years delivering results that endure



医療



製造・販売



通信



金融・保険



事業説明【製品紹介2 TM1】



オンライン分析エンジン「TM1」は業界最速のビジネスインテリジェンス・ツール
高速レスポンスとリアルタイム分析を実現

TM1は、BPM(ビジネス・パフォーマンス・マネジメント)に必須の戦略策定、予算編成、経営予測、データ統合、分析・レポートのソリューションをご提供し、経営分析の迅速な判断を支援するソフトウェアです。

製造業の原価管理、金融業の財務分析にも広く使われており、全世界で2500社を超える国際企業への採用実績があります。

全世界での 利用実績	全世界2500社以上、「Fortune」が選ぶ米企業 トップ100社の30%以上の企業が採用
最短の所要 時間	89%のユーザーが、導入6ヶ月以内に 実運用開始を実現
最高の顧客 満足度	ビジネス目標達成率にて高い評価 (OLAP Survey5調査)
最速の パフォーマンス	同種製品中、最も高速なロード/演算スピード (OLAP Survey5調査)

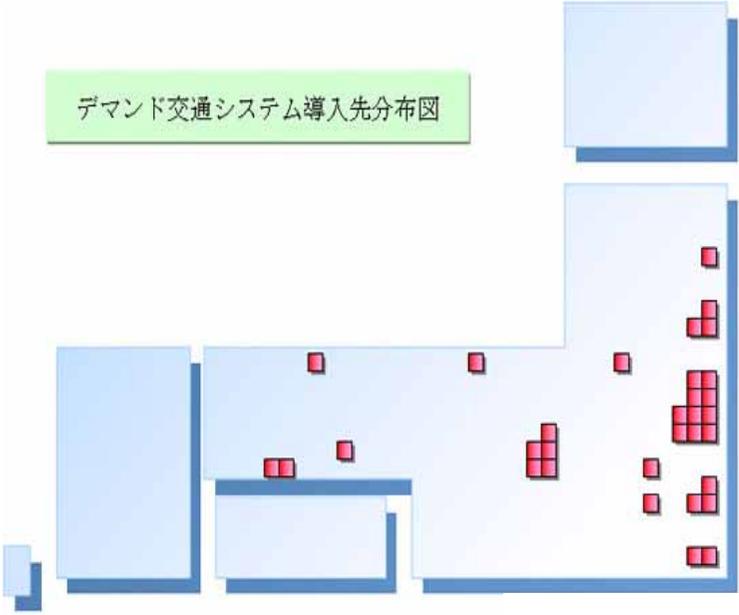
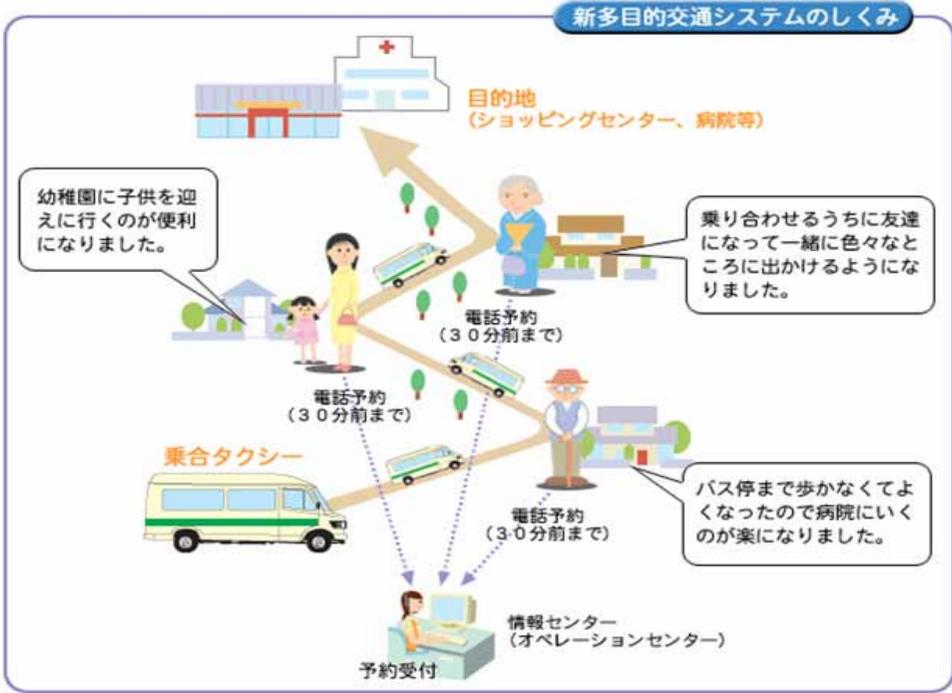


TM1ワールドワイドユーザー

事業説明【製品紹介3 デマンド交通】

高い利便性、低コスト・低料金を実現する
公共交通サービス

既に全国で39市町村が導入
地域の活性化や財政支出削減に寄与



導入事例 福島県小高町(現 南相馬市)での導入後の効果

高齢者の外出機会増加……固定ルートの路線バスなど異なり、自宅など登録した地点から目的地までタクシー感覚で利用可能
 道路混雑の削減……予約・配車をシステムが一元管理、空車で走ったり、回り道をする事なく、また道路混雑の平準化にも貢献
 財政支出の削減……福祉バス2台の年間経費約2,500万円に対し、デマンド交通システムの年間経費は840万円
 地域の活性化……利用状況 降車1位「医療機関へ55.7%」2位「商店へ11.3%」、乗車1位「商店から37.6%」

事業説明【製品紹介4 映像ソリューション】

監視センター業務

高い信頼性を必要とする交通、110番、防災等のセンター業務向け大型表示システム



文教施設

電子掲示板、国際会議システム向け大型表示板



情報・イベント

ショールーム、店舗、アミューズメント施設等向け、業界最高水準の映像表現でサービス構築を支援



放送局

ニュース・CMの送出、番組制作、放送番組監視等でクリアなタイムラグのない映像表示を提供



業績推移【連結損益実績】

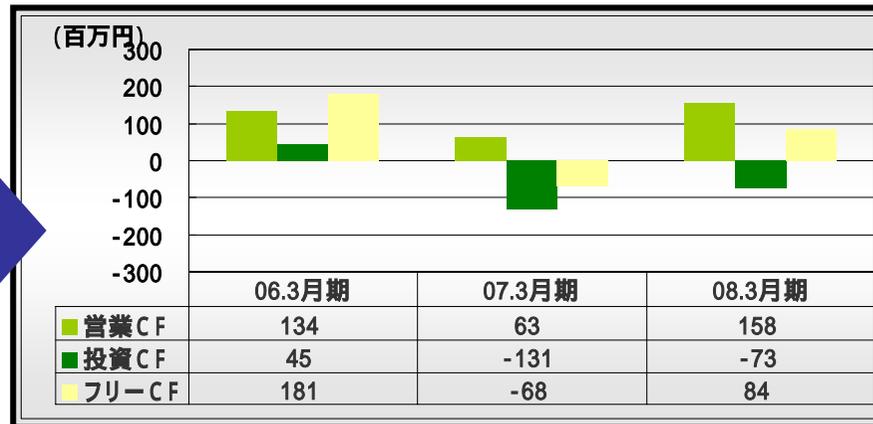
単位:百万円 (切り捨て)	05.3月期 実績	百分比 (%)	06.3月期 実績	百分比 (%)	07.3月期 実績	百分比 (%)	08.3月期 実績	百分比 (%)
売上高	4,161	100%	4,258	100%	4,482	100%	4,152	100%
売上原価	3,481	83.6%	3,430	80.6%	3,573	79.7%	3,269	78.7%
売上総利益	681	16.4%	828	19.4%	909	20.3%	883	21.3%
販売管理費	602	14.5%	696	16.3%	713	15.9%	779	18.8%
営業利益	79	1.9%	131	3.1%	196	4.4%	105	2.5%
営業外損益	43	1.0%	10	0.2%	35	0.8%	11	0.2%
経常利益	36	0.9%	121	2.9%	161	3.6%	94	2.3%
特別損益	277	6.7%	45	1.1%	41	0.9%	180	4.4%
税金等調整前当期純利益	241	5.8%	167	3.9%	202	4.5%	85	2.1%
法人税・住民税及び事業税 法人税等調整額	32	0.7%	15	0.3%	134	3.0%	3	0.1%
当期純利益	272	6.5%	181	4.2%	72	1.6%	90	2.2%
従業員1人当たり推移 (個別)	05.3月期 実績	06.3月期 実績	07.3月期 実績	08.3月期 実績				
従業員1人当たり売上高(千円)	12,970	13,109	13,640	11,636				
従業員1人当たり当期純利益(千円)	-	517	189	-				
従業員数(人)	279	287	283	296				

業績推移【連結貸借対照表とキャッシュフロー計算書】

単位:百万円	06.3月期	07.3月期	08.3月期
流動資産	2,871	2,946	2,477
現金及び預金	1,753	1,720	1,462
受取手形・売掛金	898	984	842
たな卸資産	79	80	84
繰延税金資産	88	47	57
固定資産	1,015	1,052	1,040
有形固定資産	531	524	512
無形固定資産	20	77	68
投資その他の資産	464	449	459
資産合計	3,886	3,998	3,517

単位:百万円	06.3月期	07.3月期	08.3月期
流動負債	656	1,037	1,196
買掛金	244	325	209
短期借入金	75	100	80
一年内償還社債	-	300	600
未払法人税等	11	52	33
賞与引当金	116	90	126
固定負債	1,354	1,051	536
社債	900	600	-
純資産(資本)	1,826	1,909	1,784
負債及び純資産合計	3,886	3,998	3,517

【CF計算書】(単位:百万円)	06.3月期	07.3月期	08.3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	134	63	158
投資活動によるキャッシュ・フロー	45	131	73
財務活動によるキャッシュ・フロー	251	35	347
現金及び現金同等物の増減額	68	32	265
現金及び現金同等物の期首残高	1,821	1,753	1,720
現金・現金同等物の期末残高	1,753	1,720	1,462





本資料に関してのお問い合わせ先
経営企画室 TEL03-5919-3002

<http://www.nippon-rad.co.jp/>

本資料は、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点で入手可能な情報に基づく当社の判断であり、
その情報の正確性・完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更することがあります。